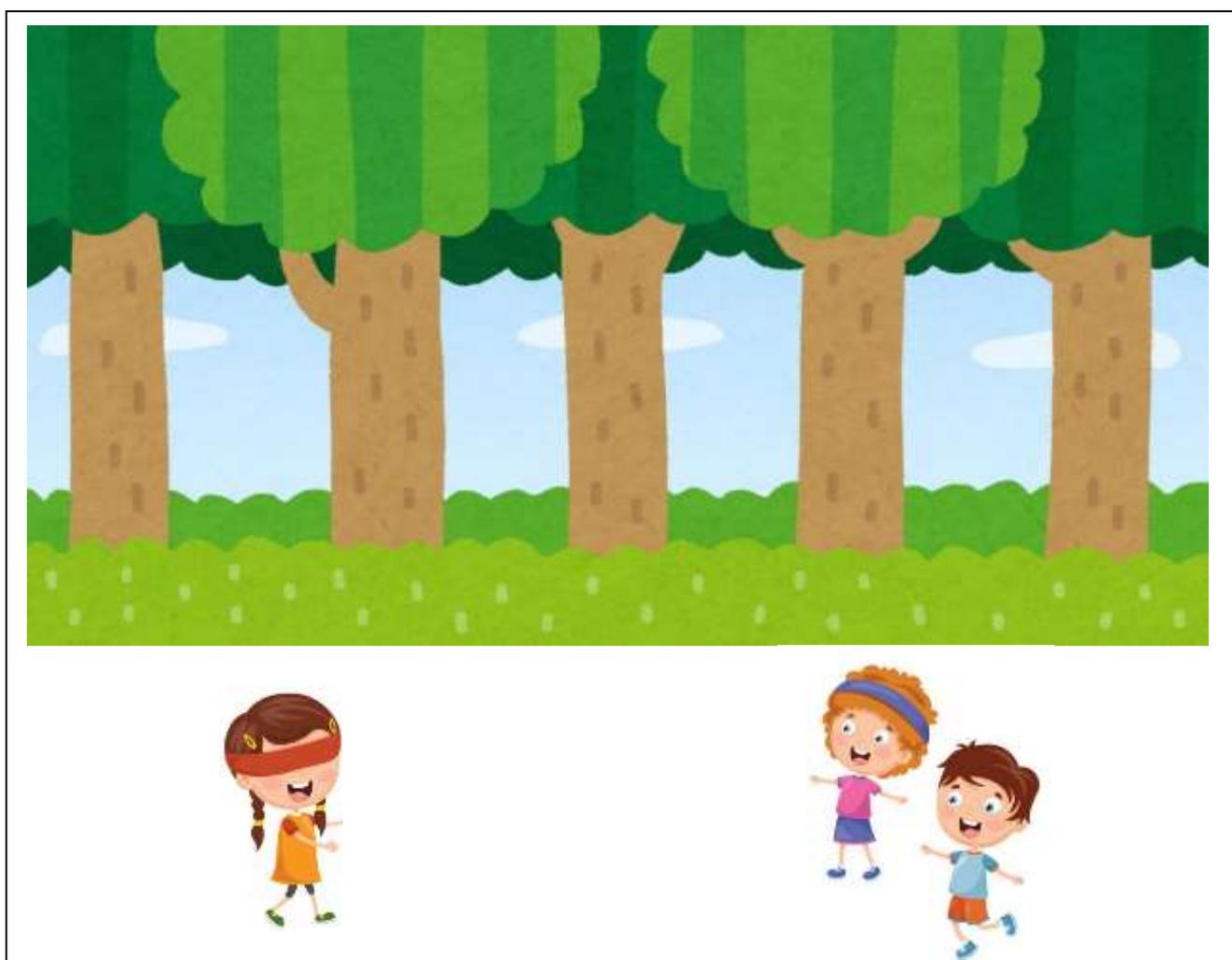


# きっと、この木！

☆集中力を研ぎ澄まし、

手のひらの感触をたよりに、1本の木を探し出そう！



# きっと、この木！

## 1 活動の概要

ゲーム形式で南但馬自然学校の多様な樹木に触れ、手のひらの感覚を頼りに1本の木を探し出す過程を通して、樹木の特徴や多様性に気づかせる活動です。

## 2 活動の目的

ゲーム的要素を取り入れながら樹木に触らせ、様々な樹木の特徴や多様性に気づかせるとともに、里山の散策を通して自然の事物への興味と関心を高める。また、自然学校終了後にも更に身近な環境の自然を調べて回るといった意欲や態度を養う。

## 3 準備するもの（それぞれ人数分）（\*は南但馬自然学校で準備できるもの）

- (1) アイマスク（タオル、はちまきなど目隠しができるもので代用可能）
- (2) ワークシート\*
- (3) バインダー（探検バッグ）\*
- (4) 筆記用具

## 4 人数／場所／時間

- (1) 人数：1グループは4～8人程度
- (2) 場所：自然観察館南側斜面
- (3) 時間：90～120分

## 5 活動の手順

- (1) ゲームについての説明をします。
  - ①このゲームは、目隠しをして樹木を触り、目隠しを外した後、手のひらの感触を頼りに、その1本の樹木を探し出すゲームです。
  - ②チーム対抗で行います。
  - ③スタート地点から目隠しをした状態でスタートし、相手チームが決めた1本の樹木を触り、手のひらの感触を覚えます。
  - ④スタート地点に戻り、目隠しを外して、手のひらの感触を頼りに、目隠しをして触った1本の樹木を探しに行きます。
  - ⑤当たった人は、10,000ポイント獲得します。
  - ⑥3回戦まで行い、チームの合計点で勝負を決めます。

(2) ゲームの流れを説明します。

- ①同人数の2チームをつくります。(先攻：樹木を当てるチーム 後攻：樹木を選ぶチーム)
- ②後攻チームはエリア内の樹木(目隠しをした相手の手を引いて、1分以内で着く範囲の樹木)を1本決めます。
- ③先攻チームは目隠しをします。
- ④後攻チームは、先攻チームの手(腕)を引いて、決めた1本の樹木まで誘導します。
- ⑤先攻チームは、樹木を触り、特徴を覚え、1本の樹木をイメージします。
- ⑥後攻チームは、先攻チームの手を引いて、スタート地点に戻ります。
- ⑦先攻チームは目隠しを外し、触った樹木を探しに行きます。
- ⑧先攻チームは正解したメンバーの人数分のポイントを獲得します。
- ⑨先攻チームはワークシートに獲得ポイント、手のひらから伝わってきた感触、触った樹木の名前等を記入します。
- ⑩樹木を当てるチームと樹木を選ぶチームが入れ替わり、②～⑨を行います。
- ⑪②～⑩を3回繰り返します。
- ⑫ポイントの多いチームが勝利です。

(3) 注意事項を伝えます。

- ①相手が目隠しをしているとき、手を引いている手(腕)を離してはいけません。
- ②ゲームエリアは平地ではありません。また、切り株、枝、根、石などがたくさんあります。(目隠しをしている人は、足の裏の感触も楽しんでください。)
- ③安全に関して細心の注意が必要です。
- ④そろり、そろりと歩いてください。

(4) 活動を振り返ります。

- ①チーム内でワークシートに記入した内容を発表し合います。
- ②チームの代表者がワークシートに記入した内容を発表します。
- ③必要に応じて、指導者が、児童の活動の様子や発表内容を評価しながら、まとめをします。

## 6 指導上の工夫と留意点

- (1) エリアは任意です。
- (2) 回数は任意です。
- (3) 2人組をつくり、1対1の個人戦をすることもできます。
- (4) ワークシートの「手のひらの感触」欄は、「～のような」など他のものと比べる表現をさせたり、「ざらざら」「つるつる」などの擬態語で表現をさせたりするのもよいでしょう。

## 7 安全上の留意点

- (1) カエンタケやツタウルシなど有毒植物やトゲのある植物について手で触らないよう事前に注意喚起しておきましょう。
- (2) 服装は、帽子、軍手、長袖・長ズボン、運動靴の着用が必要なことを説明しましょう。
- (3) 活動範囲と活動時間をはっきりと説明しておきましょう。活動範囲に指導者を適切に配置しましょう。
- (4) 目隠しをしているときは、手を離さず、安全に特に注意させてください。指導者も加わり、両側から手（腕）を引くこともよいでしょう。

## 8 まとめ

私たち人間は、視覚から得る情報が最も多いと言われています。目隠しをすると、自然への感じ方がそれまでと一変します。無意識のうちに周囲の自然を感じ取ろうとする力が働きます。今回は手のひらの感触（触覚）に焦点を当てていますが、同時にそれまでは聞こえなかった風の音、枝や葉がこすれ合う音、鳥の声などが聞こえるようになったり、花や草の匂いを感じられるようになったりするはずですよ。

自然に関する特別な知識がなくても、豊かな自然のもつ様々な表情について、ゲームを通して仲間と共に楽しめる自然体験活動で、自然の不思議や仕組みを学ぶことができます。さらに、仲間と共に自然の大切さを意識し、自然を守ろうとする行動があらわれることが期待できます。

### ◆◆ 各教科等との主な関連 ◆◆

<b>事前指導</b>	身の回りの自然（樹木）について	<b>国語</b>	情報の扱い方に関する事項③
		<b>算数</b>	10000より大きい数③
		<b>理科</b>	身の回りの生物③ 季節と生物④
<b>自然学校</b>	自然（樹木）にふれる活動	<b>国語</b>	話すこと・聞くこと③
		<b>理科</b>	言葉の特徴や使い方に関する事項⑤⑥ 「比較」「関係付け」 「多様性や共通性の視点」
<b>事後指導</b>	身近な自然（樹木）を調べる活動	<b>社会科</b>	我が国の国土の自然環境と国民生活との関連⑤
		<b>特別の教科 道徳</b>	生物と環境 「自然愛護」「感動、畏敬の念」

※（ ）内の○数字は、学年を示しています。

南但馬自然学校アクティビティシート 令和3年

編者・発行 兵庫県立南但馬自然学校

〒669-5134 兵庫県朝来市山東町迫間字原 189

TEL 079-676-4731 FAX 079-676-4008

このアクティビティシートの様式は、(公財)日本教育科学研究所が発行するIOREシートを参考に作成したものです。

# 「きっと、この木！」ワークシート

はん  
班

なまえ  
名前

しゅうちゅうりよく と す  
集中力を研ぎ澄まし、

て かんしよく ほん き さが だ  
手のひらの感触をたよりに、1本の木を探し出そう！

ちゅうい  
(注意)

- 目隠しをしているときは、相手の手を離さず、安全に特に注意をしましょう。

チーム (班) の得点 <1回正解したら、10000ポイントゲット!>

チーム名 (班)	かいせん 1回戦	かいせん 2回戦	かいせん 3回戦	ごうけい 合計

めかく  
目隠しをして触った木について

	かいせん 1回戦	かいせん 2回戦	かいせん 3回戦
て 手のひらの感触  かん (感じたこと)			
き なまえ 木の名前  か (わかれば書こう)			